

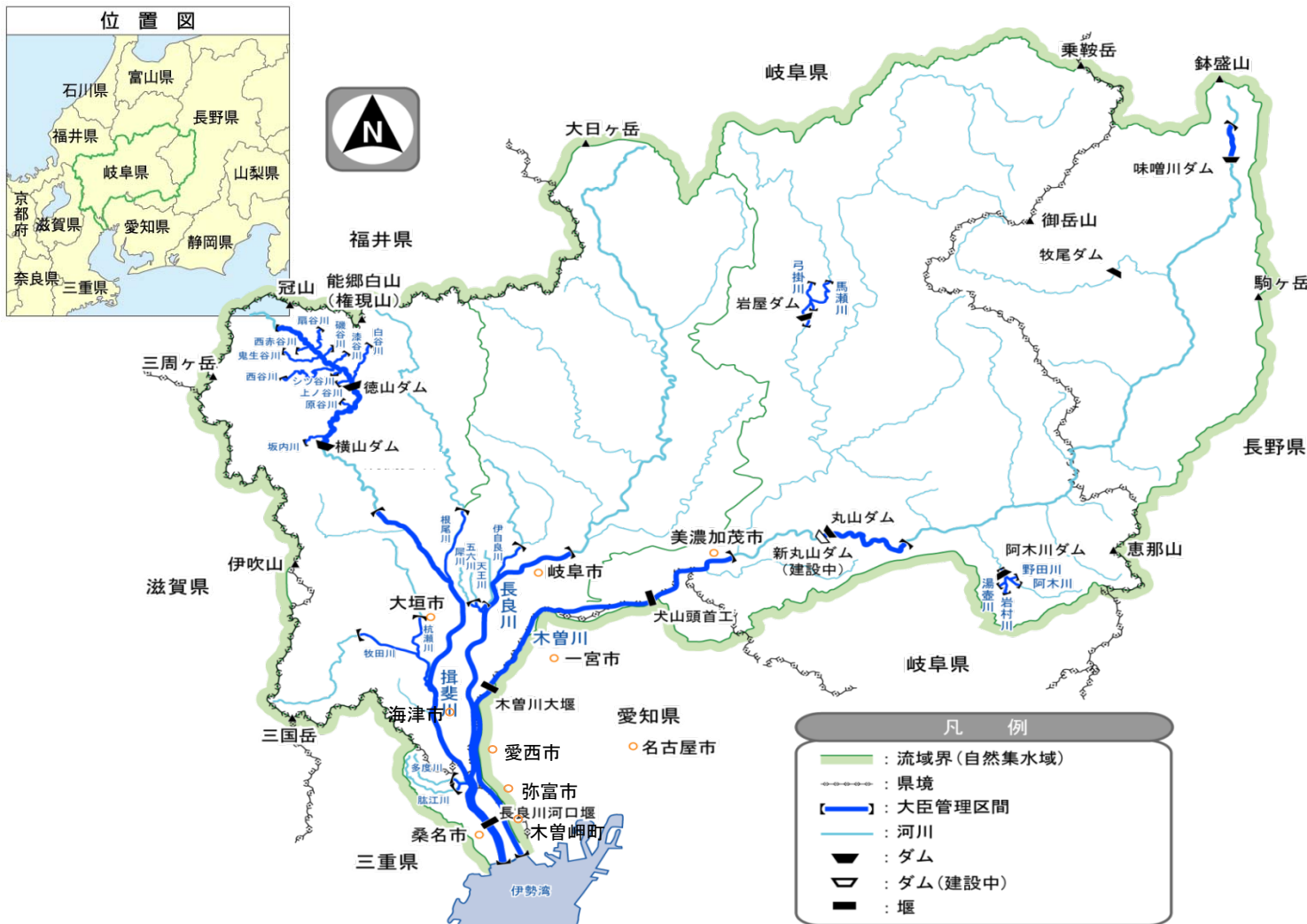
令和3年度 事業概要



国土交通省 中部地方整備局
木曽川下流河川事務所

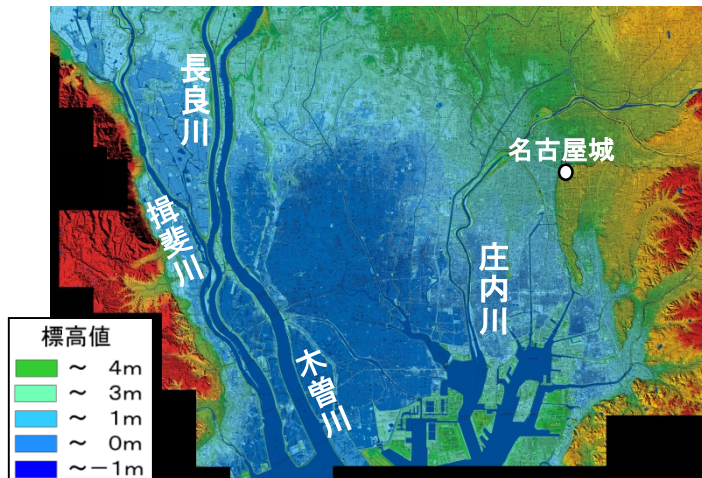
1. 木曽三川の概要

木曽川水系は、長野県木曽郡木祖村の鉢盛山を源とする木曽川と、岐阜県郡上市の大日ヶ岳を源とする長良川、岐阜県揖斐郡揖斐川町の冠山を源とする揖斐川の三川を幹川として、山地では峡谷をなし、濃尾平野を南流し、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯を貫き、伊勢湾に注ぐ、我が国有数の大河川です。



木曽三川下流部は我が国最大のゼロメートル地帯であり、万が一、堤防が決壊した場合、壊滅的な被害となる恐れがあります。

木曽三川下流域空中写真



2. 令和3年度の事業方針

◆ 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨など、気候変動に伴い激甚化・頻発化する風水害や切迫する大規模地震への対策として、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の考え方に基づいて、堤防整備・耐震対策などをより一層加速する。

- ◆ 木曾三川河口部において、緊急対策として堤防の天端盛土等の耐震対策を実施します。
- ◆ 揖斐川右岸深谷地区において、堤防整備と併せて御砂樋管の改築事業に着手します。
- ◆ 肱江川において、中須前用水暗渠周辺の堤防整備に着手します。
- ◆ 揖斐川左岸本阿弥新田地区、木曾川左岸森川地区及び木曾川右岸福原新田地区において、堤防の拡幅・護岸工事を実施します。
- ◆ 長良川において、河川整備計画における目標流量に対応した河道掘削を実施します。

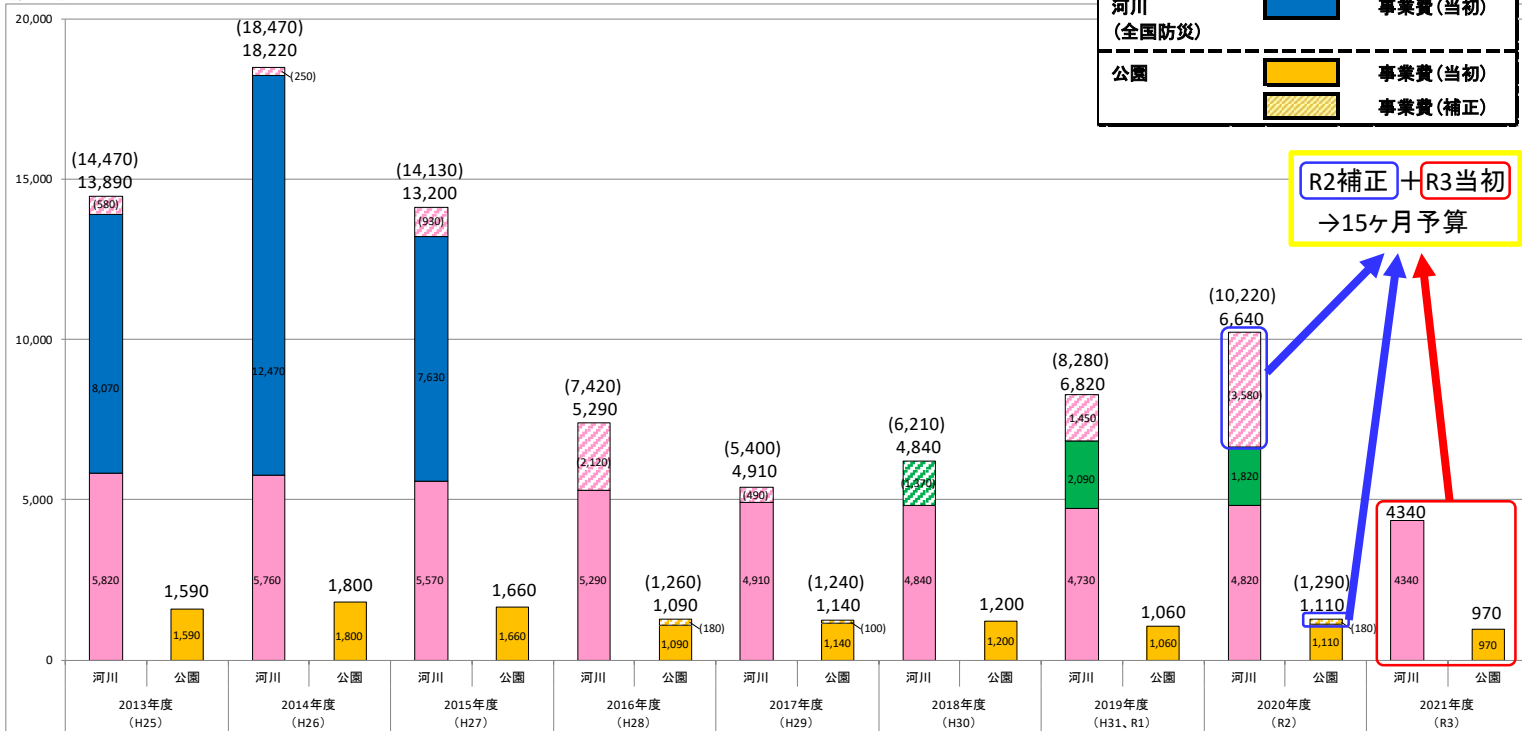
◆ 木曾川下流部の豊かで多様な水際環境を再生するため、地域との協働により、ヨシ原及び干潟を再生し、生物の多様性の回復を図ります。また、愛西市かわまちづくり計画に基づき、ケレップ水制周辺のワンド再生に向けてアクセス路を整備します。

◆ 国営木曾三川公園については、木曾三川公園センターの展望タワーの耐震対策を実施します。また、大江緑道の整備・用地取得を実施するなど、各拠点の整備・利用促進を図ります。

事業費の推移(2013年度(平成25年度)～2021年度(令和3年度)(当初))

令和3年度においては、令和2年度補正予算と令和3年度当初予算を一体とした「15ヶ月予算」と考え、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保のため事業を実施します。

(百万円)



河川 (河川改修、維持修繕、環境整備含む)	事業費(当初)
	事業費(補正)
河川 (臨特)	事業費(当初)
	事業費(補正)
河川 (全国防災)	事業費(当初)
公園	事業費(当初)
	事業費(補正)

R2補正 + R3当初
→15ヶ月予算

※ 各年度の事業費は、補正予算等を含めた合計の事業費
 ※ 事業費は、業務取扱費を除く
 ※ () 書きは最終予算額
 ※ 臨特: 消費税引き上げや防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に対応するための臨時・特別の措置

3. 河川改修事業

木曾三川下流部は、1887年(明治20年)に着手された明治改修によって三川分流工事が行われ、1959年(昭和34年)の伊勢湾台風災害を契機とした高潮対策事業等の改修を経て、ほぼ現在の姿となりました。

沿川は、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯であり、万が一、堤防が決壊すれば壊滅的な被害となる恐れがあることから、堤防強化等の事業を推進し更なる安全度の向上を図ります。

◆〔木曾三川河口部地震対策耐震事業〕

- 今後、発生が懸念される南海トラフ巨大地震に備え、津波による浸水被害の恐れのある区間について、地盤改良を実施します。
- 地震による沈下の影響が大きい高潮区間において、緊急対策として堤防の天端盛土等を実施します。

◆〔揖斐川深谷地区堤防整備事業〕

- 揖斐川右岸深谷地区(桑名市)において、御砂樋管周辺の堤防の高さ及び断面が不足しているため、堤防整備と併せて樋管の改築を実施します。

◆〔肱江川堤防整備事業〕

- 肱江川の中須前用水暗渠付近(桑名市)において、堤防の高さ及び断面が不足しているため、堤防整備を実施します。

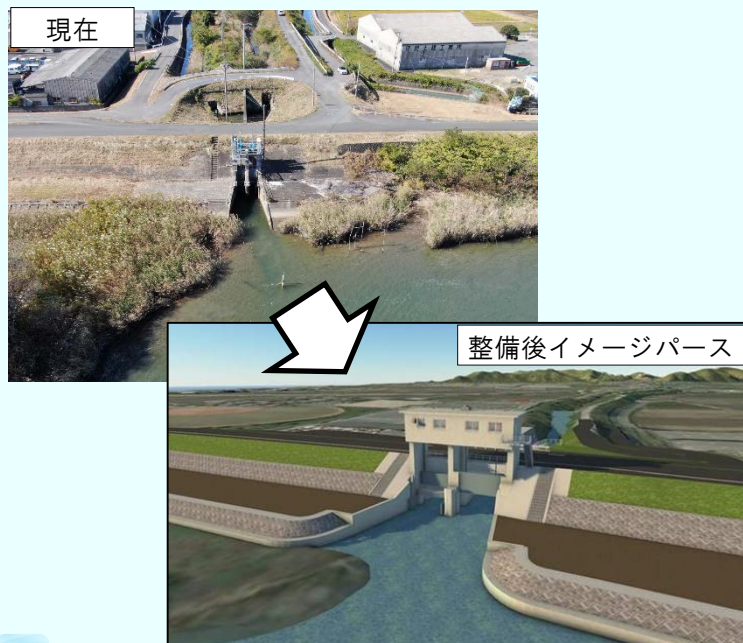
◆〔木曾川森川堤防整備事業〕〔木曾川福原新田堤防整備事業〕〔揖斐川海津堤防整備事業〕

- 木曾川左岸森川地区(愛西市)、木曾川右岸福原新田地区(愛西市)、揖斐川左岸本阿弥新田地区(海津市)において、引き続き堤防整備を実施します。

◆〔長良川下流域しゅんせつ事業〕

- ◆ 長良川において、河川整備計画における目標流量(戦後最大洪水)を安全に流下させるために、河道掘削を引き続き実施します。

揖斐川深谷地区堤防整備事業



長良川下流域しゅんせつ事業



河川改修事業（高潮区間）

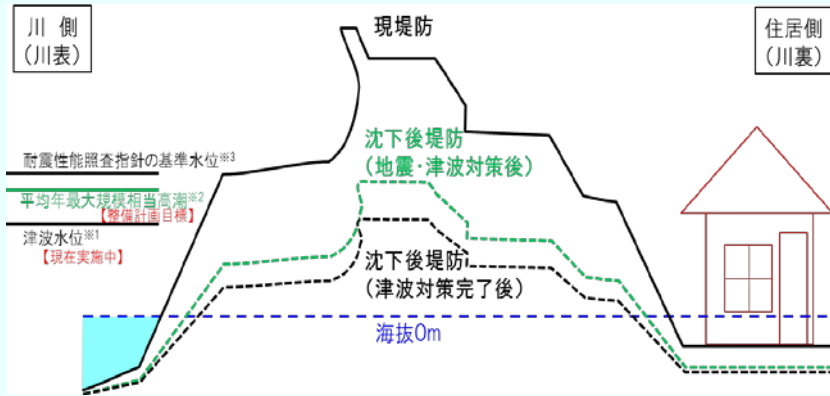
工事名	地先名
① 令和2年度 木曾川葎ヶ須川表高潮堤防補強工事	木曾川右岸 桑名市長島町葎ヶ須地先
② 令和2年度 木曾川葎ヶ須上流川表高潮堤防補強工事	木曾川右岸 桑名市長島町葎ヶ須地先
③ 令和2年度 木曾川下流管内耐震補強工事	木曾川右岸 桑名市長島町赤地地先～鎌ヶ地地先
④ 令和3年度 木曾川源緑輪中高潮堤防嵩上工事	木曾川左岸 桑名郡木曾岬町源緑輪中地先
⑤ 令和3年度 揖斐川城南高潮堤防嵩上工事	揖斐川右岸 桑名市立田町地先

黒字：R2年度からの継続工事 青字：R2年度補正発注工事 赤字：R3年度発注予定工事

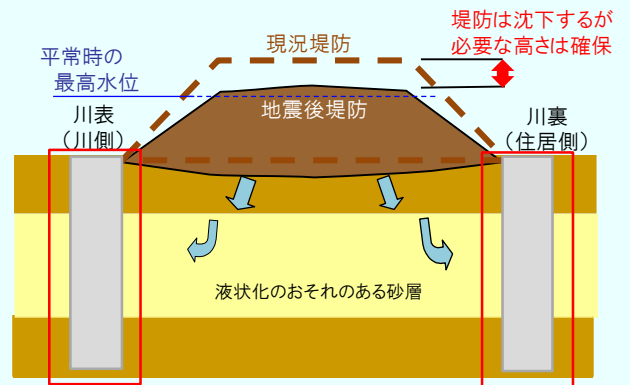
※ 上記工事は4月時点における予定であり、今後変更する場合があります。

耐震対策の工法

<概念図>



<地盤改良イメージ> 工事①～③



※片側のみで対策する箇所もあります。

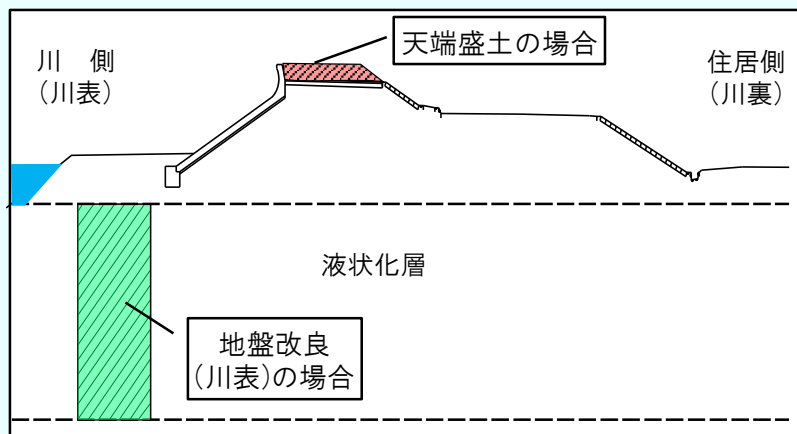


桑名市長島町葎ヶ須地先



桑名市長島町葎ヶ須地先

<天端盛土イメージ> 工事④⑤



令和3年度より平均年最大規模相当の高潮による浸水被害の恐れのある区間に対して、以下の対策を実施。

- ①天端盛土
地盤の液状化によって沈下する堤防の高さを確保
- ②地盤改良(今後、必要に応じて実施)
堤体の液状化を抑制する

	工 事 名	地 先 名
①	令和3年度 木曾川立田町下流工区築堤工事	木曾川左岸 愛西市立田町地先
②	令和3年度 木曾川立田町上流工区築堤工事	木曾川左岸 愛西市立田町地先
③	令和2年度 木曾川福原新田護岸工事	木曾川右岸 愛西市福原新田町地先
④	令和2年度 長良川福原河道しゅんせつ工事	長良川左岸 愛西市立田町福原地先 ～桑名市長島町松之木地先
⑤	令和2年度 長良川上坂手河道整備工事	長良川右岸 桑名市長島町上坂手地先
⑥	令和2年度 長良川福原河道整備工事	長良川左岸 愛西市立田町福原地先
⑦	令和2年度 揖斐川安田新田地区護岸工事	揖斐川左岸 海津町安田新田地先
⑧	令和2年度 揖斐川西小島築堤護岸工事	揖斐川左岸 海津市海津町西小島地先
⑨	令和3年度 揖斐川御砂樋管改築工事	揖斐川右岸 桑名市大字下深谷部地先
⑩	令和3年度 肱江川堤防整備工事	肱江川右岸 桑名市多度町中須地先
⑪	令和3年度 木曾川下流管内河川整備工事	木曾川下流河川事務所管内

青字：R2年度補正発注工事 赤字：R3年度発注予定工事

※ 上記工事は4月時点における予定であり、今後変更する場合があります。

揖斐川海津堤防整備事業



海津市海津町安田新田地先

木曾川福原新田堤防整備事業



愛西市福原新田町地先

木曾川下流管内図

1.0 0.5 0 1.0 2.0 3.0 4.0

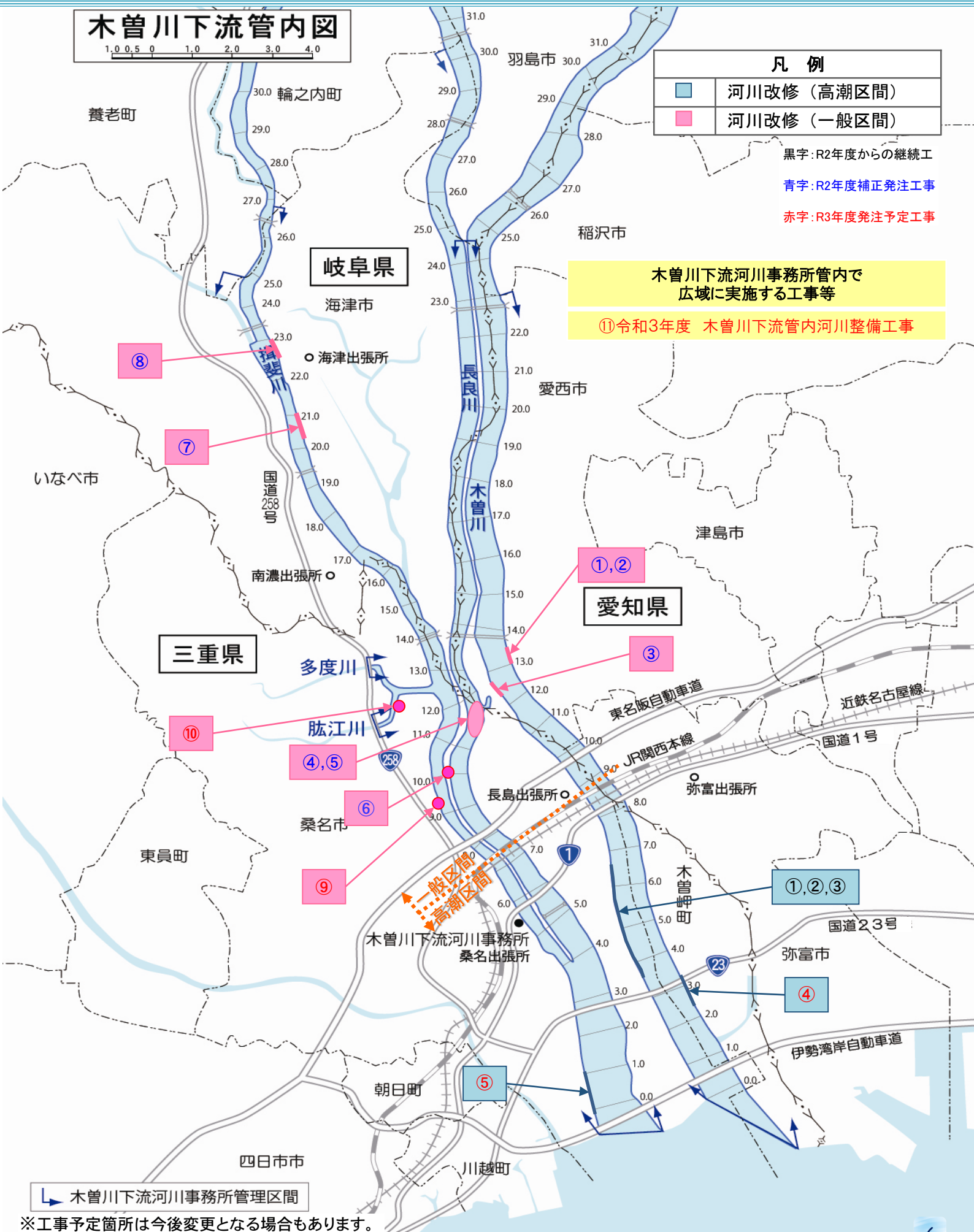
凡例	
	河川改修（高潮区間）
	河川改修（一般区間）

黒字：R2年度からの継続工

青字：R2年度補正発注工事

赤字：R3年度発注予定工事

木曾川下流河川事務所管内で
広域に実施する工事等
⑪令和3年度 木曾川下流管内河川整備工事



岐阜県

愛知県

三重県

木曾川下流河川事務所
桑名出張所

木曾川下流河川事務所管理区間

※工事予定箇所は今後変更となる場合もあります。

4. 環境整備事業

本事業では、木曾三川下流部の豊かで多様な水際環境を再生するため、地域との協働により、ヨシ原及び干潟を再生し生物の多様性の回復を図ります。

河川整備計画(2008年(平成20年)3月策定)の理念に則った「自然再生計画」(2012年(平成24年)3月)に基づき、ヨシ原及び干潟の再生などの環境整備を進めてきましたが、2018年(平成30年)2月より自然再生計画の点検及び見直しを行うために、「木曾三川下流域自然再生検討会」を開催し、再生した自然環境が持続的なものとなるように、地域住民等との連携や持続性を考慮した自然再生の検討を行っていきます。

木曾川下流域自然再生検討会の開催

木曾三川下流域に関わりが深い学識者・有識者に参加いただき、木曾三川下流域の現状や変化、環境上の課題等から、自然再生計画の点検や、計画の見直し検討等を行います。



2019.3.28 第11回開催状況

愛知黎明高等学校、河川環境保全モニターとの協働

ヨシの移植を行い、生育調査および維持管理、モニタリングまでの一連の過程を協働して実施します。



2020.3.24 ヨシ植え

愛西市かわまちづくり

船頭平閘門やケレップ水制といった土木遺産や多様な自然環境など、魅力ある地域資源を有している愛西市において、これらの資源を繋ぐ観光ルートの実現により更なる観光振興、地域活性化等を図るための「愛西市かわまちづくり計画」が2018年(平成30年)3月26日に登録されました。

2021年度は、ケレップ水制周辺の散策路等を整備します。



2019年度整備状況



船頭平閘門と木曾川観光船

木曾三川生態系ネットワーク推進協議会(ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会)

木曾三川流域における生態系ネットワーク形成を推進するための効果的な推進手法・展開方策について検討しています。2020年度は、ニホンウナギ生態系ネットワーク推進計画作成に向けた現地モニタリング調査を実施しました。2021年度は、ニホンウナギ生態系ネットワーク推進計画書の作成を行います。



2020.10.17現地モニタリング調査(ウナギの捕獲)状況



指標種:ニホンウナギ

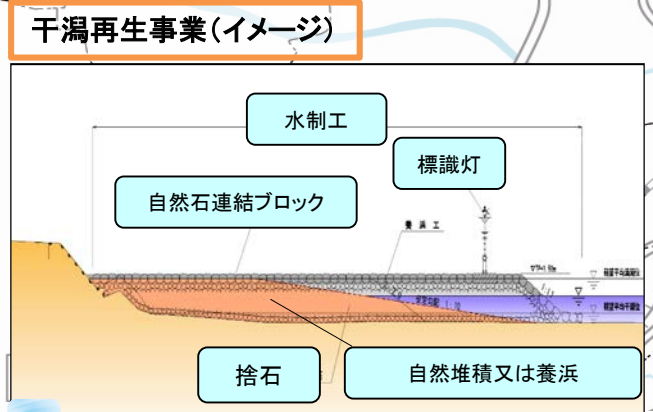
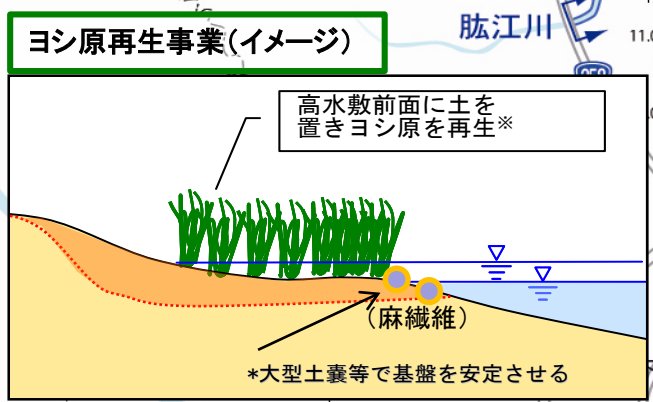
木曽川下流管内図

1.0 0.5 0 1.0 2.0 3.0 4.0



凡例	実施箇所
愛西かわまちづくり	●
ヨシ原再生	●
干潟再生	●

木曽三川下流部環境整備工事



8 工事予定箇所は今後変更となる場合もあります。

5. 河川管理

- ◆ 木曾川水系河川整備計画に基づく木曾川水系河川維持管理計画の見直しを行い、河川の監視・評価・改善の観点を踏まえ河川管理を実施します。
- ◆ 堤防及び護岸、城南排水機場ほか6ヶ所の排水機場、津屋川水門ほか25ヶ所の水門、樋管、船頭平閘門、赤須賀陸閘等河川管理施設の維持管理及び操作を行います。
- ◆ 管理延長約156kmの河川巡視(平常時、洪水時)を行い堤防の損傷発見、不法占用、不法投棄等の防止を図ります。また、上記巡視時において、堤防の損傷等を速やかに見つけられるよう、堤防の法面管理(例:堤防除草)を実施します。
- ◆ 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として伐採した河道内樹木の再繁茂対策を実施します。
- ◆ コスト縮減と資源の有効活用のため、刈草等の堆肥化の無料配布、河川内樹木の公募による伐採・伐木の無償提供などを事務所HPでも広く公募しながら地域と協働して進めます。
- ◆ 平成19年度より実施している不法係留船対策により対象船舶は減少していますが、現在も約234隻(令和2年度確定数)の不法係留船が存在しています。平成30年2月に第2次計画を策定、令和4年度までに重点的撤去区域において、計画的かつ段階的に撤去措置が完了するよう調整を図っていきます。
- ◆ 河川敷地の占用、工作物の設置に関する河川法許可の業務を適切に行っていきます。

維持管理・修繕



河川巡視(直営)状況



陥没の発見(詳細調査状況)



河川巡視

堤防法面管理(除草) リサイクル



伐採後



樹木の無料配布(配布状況)



刈草等の堆肥化(配布状況)



樹木の伐採状況(揖斐川22k付近)



行政代執行(愛西市立田町)



排水機場の維持管理(ポンプ修繕状況)

木曾川下流管内図

1.0 0.5 0 1.0 2.0 3.0 4.0



木曾川下流河川事務所管内で
広域に実施する工事等

- ・桑名・南濃出張所管内堤防維持管理修繕工事
- ・弥富出張所管内堤防維持管理修繕工事
- ・長島出張所管内堤防維持管理修繕工事
- ・海津出張所管内堤防維持管理修繕工事
- ・長島出張所管内樹木伐開工事
- ・R2木曾川下流通信設備整備工事
- ・木曾川下流管内河川管理設備工事
- ・木曾川下流通信設備整備工事

R2津屋川水門監視
制御設備工事

木曾川下流管内排水機場
ポンプ設備修繕工事

揖斐川沢北排水機場
ポンプ設備修繕工事

揖斐川城南排水機場
ポンプ設備修繕工事

揖斐川下流部護岸修繕工事

木曾川下流河川事務所管理区間

6. 国営木曾三川公園事業

国営木曾三川公園は、木曾川・長良川・揖斐川の木曾三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に応えるために設置された公園です。三派川地区・中央水郷地区・河口地区の3地区(計画面積約6,100ha)からなり、現在3地区合わせて13拠点(約290ha)が開園しており、年間約1,000万人前後の方々に来園いただき利用して頂いております。今年度、木曾三川公園治水展望タワーの耐震対策工事等を進めるとともに、引き続き各拠点において整備・管理運営を進めます。

◆木曾三川公園センターの整備等

- ◆ 中央水郷地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人々が集い、交流する総合拠点として位置づけられています。今年度は、治水展望タワーの耐震化の工事を進めます。

◆(仮称)大江緑道の整備工事等

- ◆ 水郷景観や水辺に親しむことのできる公園として供用しているアクアワールド水郷パークセンターと一体的な利用を目指し、地元と連携を図りつつ大江緑道の事業を促進するとともに引き続き用地取得を進めます。また、義呂池周辺及び万寿新田広場の整備工事を進めます。

◆桑名七里の渡し公園の整備検討等

- ◆ 木曾三川を軸に人や物の交流が生まれ、文化を育み、地域の繁栄につながった歴史を紹介する情報発信拠点となる七里の渡し地区の基本設計検討を進めます。

木曾三川公園センター



アクアワールド水郷パークセンター



東海広場



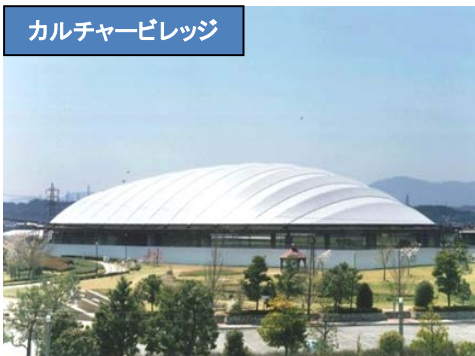
船頭平河川公園



長良川サービスセンター



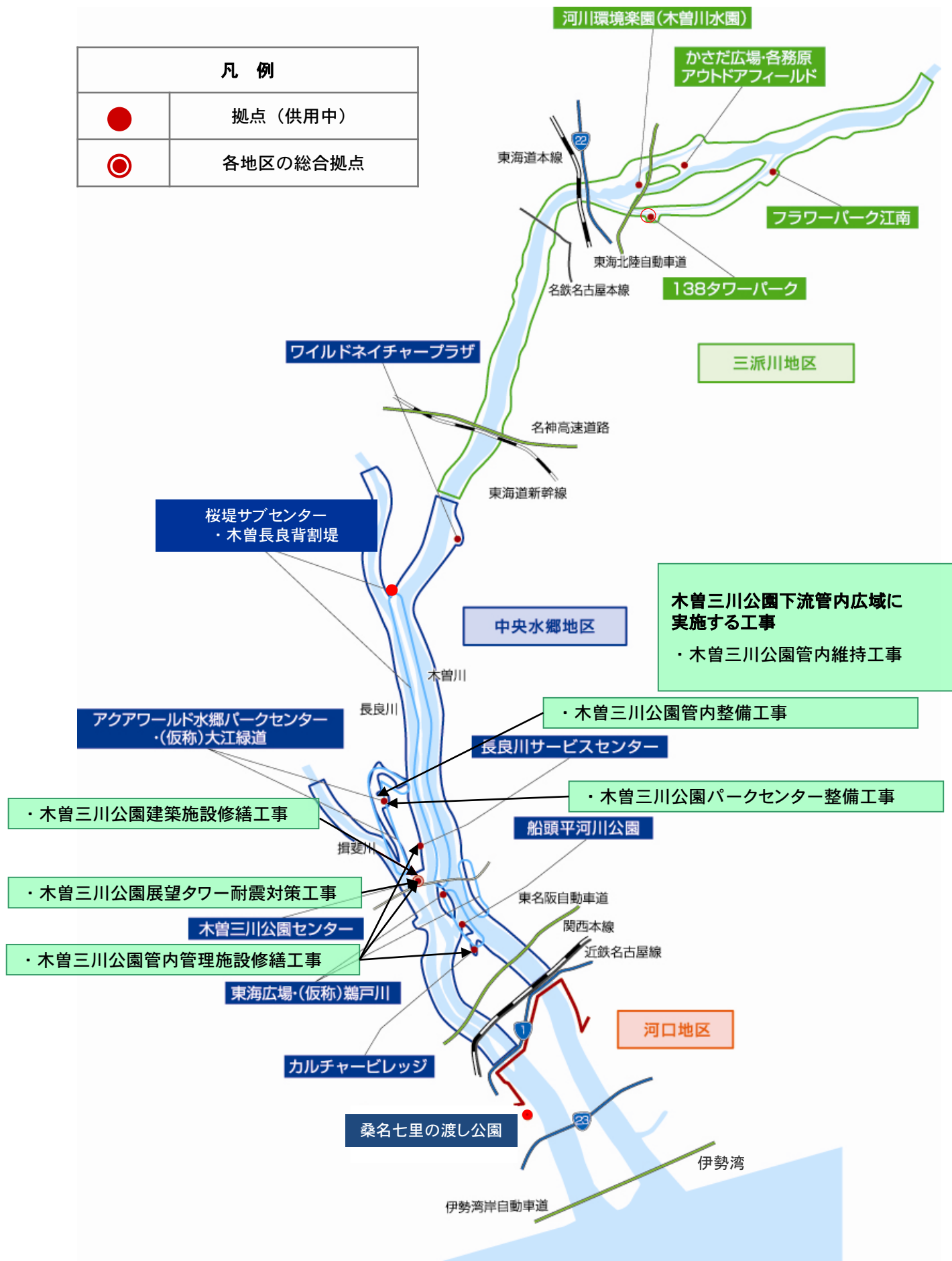
カルチャービレッジ



桑名七里の渡し公園



凡 例	
●	拠点（供用中）
◎	各地区の総合拠点



※工事予定箇所は今後変更となる場合もあります。

7. 調査・計画

河川管理に必要な各種調査

- ◆ 河川の整備や維持管理、水防に必要な水位や流量の観測を行います。
- ◆ 河川環境の保全のため、水質や鳥類、ヨシ原及び干潟などの自然環境調査を行います。
- ◆ 濃尾平野の地盤沈下状況を把握するため、継続して水準点の観測・監視を行います。



水準点の観測状況

木曽川水系流域治水プロジェクト

- ◆ 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨をはじめとした近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、木曽川水系において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を進めます。
- ◆ 令和2年度末に開催した「木曽川水系流域治水協議会」において、「木曽川水系流域治水プロジェクト」をとりまとめました。



第2回 木曽川水系流域治水協議会
(2021/3/29)

8. 防災・危機管理

犠牲者ゼロを目指した取組

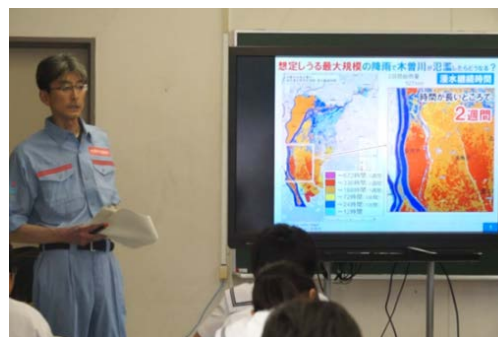
- ◆ 広域的、長期的な浸水が発生した状況においても犠牲者ゼロとなることを目指し、8市町村(桑名市、木曽岬町、海津市、弥富市、愛西市、津島市、蟹江町、飛島村)とともに広域避難実現に向けた取り組みの発信、意見交換、検討を進めます。令和2年度の策定の「木曽三川下流部高潮・洪水災害広域避難(第1版)」について実動訓練を通じて実効性を高めていきます。



第4回木曽三川下流部
広域避難実現プロジェクト(高齢者福祉)
2019.5.26)

「水防災意識社会」の再構築に向けた取組

- ◆ 近年の風水害では高齢者の被災が多く割合を占めていることを踏まえ、高齢者の避難行動の理解促進を更に図ります。
- ◆ 木曽三川下流部において大規模水害に備える認識を高めるため、水防災協議会の取り組みの一環として小中学校における防災教育の推進を更に図ります。



モデル校における試行授業

災害時の支援

- ◆ 災害時に県市町村の要請によって国土交通省の災害対策車両・応援職員を派遣しています。
- ◆ 大きな災害が発生したときは、被災地にTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を派遣し、被災状況調査、被害の拡大防止、早期復旧に関する地方公共団体等の支援を行います。



令和2年7月豪雨におけるTEC-FORCE活動

9. 地域との連携

- ◆ 木曾三川下流域の地域防災力の向上に向け、災害対策車両の展示など住民啓発活動を関係自治体と連携して実施するほか、市町の防災訓練に参加して、積極的に防災広報を推進します。
- ◆ 木曾三川下流部の治水事業や治水史、豊かな河川環境、適正な水面利用等について紹介し、河川の整備、環境の保全・再生、利用推進に向け、地域住民や関係機関との連携を推進します。
- ◆ 木曾三川の歴史的治水や利水、明治改修による三川分流など社会資本ストックの重要性の理解を深めて頂くため、木曾川流域の治水利水の歴史・文化の調査研究資料「KISSO」を発行します。

県境を越えた地域との連携

- ◆ 木曾三川下流域の歴史的治水、舟運や街道、産業文化など観光資源の情報連携、防災施設の多面的利用、社会実験を通して来訪者の増加や利便性、満足度のさらなる向上を図るため広域な観光連携を推進します。
- ◆ 木曾三川下流域にある「輪中」や「水屋」、「堀田」など独特の土地利用形態、特有の歴史文化を市町の水郷資料館や道の駅との情報共有を図り、来訪者向け案内マップや連携イベントを行います。

住民との連携・協働

- ◆ 木曾三川下流アダプト制度による河川の美化・清掃活動の支援や、河川協力団体による清掃活動のほか、木曾三川下流地区広域観光連携協議会を活用して、観光歴史ボランティアによる歴史的治水の説明を支援するための交流視察会や、木曾三川下流開放講座を実施します。



海津市と郡上市の上下流小学生交流の支援



観光歴史ガイドボランティアとの連携(木曾岬町視察交流会)

ミズベリング、かわまちづくり

- ◆ 水辺環境に対する社会の関心を高め、その新しい活用の可能性を切り拓いていくための官民一体の協働プロジェクト「ミズベリング・プロジェクト」を推進します。
- ◆ 水辺空間の利活用を通じた観光振興や健康増進等により地域活性化に貢献する「まちと水辺が融合した良好な空間形成(かわまちづくり)」を推進するため、市町や地域住民等と連携を深めていきます。



七里の渡し公園水辺マルシェ(社会実験)(2018.9.22・23)

地域との新たな活動

<背景・概要>

- ◆ 流域全体で行う「流域治水」を推進するためには、あらゆる関係者(国・都道府県・市町・企業・住民等)の主体的に参加することが必須
- ◆ しかし、河川管理・治水対策は依然として、河川管理者が行うという意識が高い。
- ◆ 河川管理者側も、河川管理・治水対策だけでなく、「まちづくり」や「地域活性化」等の視点も踏まえ、連携・協力関係の構築が必要。
- ◆ 日常的に地域と会話できる関係を構築し、豊かな自然環境と創出する「自然豊かな川づくり」と人が集まる「賑わいのある川づくり」を目指す。

多様な生物が生息する“自然豊かな川”

- 良好な自然環境の保全、失われた環境の再生
- 魚だけでなく、多様な動植物が生息しやすい環境の創出

人々が集まる“賑わいのある川”

- 地域と連携した河川にふれあう機会の創出
- 河川教育の充実

相互理解・協力

“誇れる川” “住みたい街”

持続可能な社会の実現

身近な川の体験活動会:SUP体験(R2.9.9)



水辺で乾杯(R1.7.8)



<令和3年度実施内容>

- ◆ [水辺で乾杯] 7月上旬予定
 - 市町だけでなく地域の事業者等と連携した「水辺で乾杯」を計画し、一緒に実現させることにより、河川管理者と地域の方々との連携強化を図る。
- ◆ [川の体験活動] 7月～9月頃予定
 - 地域住民(親子)を対象とし、川の体験活動を実施し、日常的に川を意識してもらえよう川の魅力を伝える。
- ◆ [高潮堤防利活用検討会(仮称)] 通年
 - 耐震対策のため、高潮堤防の天端盛土を実施予定
 - 延長が長いため、検討会への住民参加も検討し、地域住民との連携・協力体制を構築
- ◆ [豊かな川の創造プロジェクト(仮称)] 通年
 - 木曾三川を代表する海苔・シジミ・ハマグリ漁獲量が減少している。
 - 関係団体と協力し、生物が豊かな川を創造するため、安全性だけでなく、生物多様性に配慮した川を目指す。

国土交通省 中部地方整備局 木曽川下流河川事務所

〒511-0002 三重県桑名市大字福島465

TEL:0594-24-5711(代表)FAX:0594-21-4061(代表)

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

総務課	TEL 0594-24-5711	経理課	TEL 0594-24-5712
用地課	TEL 0594-24-5713	工務課	TEL 0594-24-5714
調査課	TEL 0594-24-5715	管理課	TEL 0594-24-5717
占用調整課	TEL 0594-24-5718	河川公園課	TEL 0594-24-5719
防災情報課	TEL 0594-24-5721		

桑名出張所	〒511-0002	三重県桑名市大字福島 465	TEL 0594-23-6013
南濃出張所	〒503-0533	岐阜県海津市南濃町田鶴473-2	TEL 0584-56-1136
弥富出張所	〒498-0021	愛知県弥富市綱浦町東前新田122-2	TEL 0567-67-0229
長島出張所	〒511-1112	三重県桑名市長島町大倉17-52	TEL 0594-42-0257
海津出張所	〒503-0647	岐阜県海津市海津町東小島23	TEL 0584-53-0483